

じんけんコラム(8月)

じんけんコラム ホツと♡スペース

ひとにやさしい、じぶんにやさしい
あたたかい話題をとどけます!



人権感覚とは？



「人権感覚」という言葉を、皆さんはご存じですか。例えば、バスの中で若者がお年寄りに席を譲っているのを見て「優しいな」と感じたり、詐欺被害のニュースに触れて「許せない」と思ったりする、このような心の動きを「人権感覚」といいます。

人権が守られている状態を「望ましい」と感じる、反対に守られていない状態を見て「おかしいな」「この人は傷ついていないかな」と気づくことも、人権感覚の一つです。

しかし、そのように感じたり、気づいたりすることができなくなることがあります。そうした人権感覚を鈍らせてしまうものが、偏見や差別、他人を見下す気持ち、「自分には関係ない」という無関心、「〇〇のくせに」という決めつけ、問題に気付いても見ているだけという傍観などの、「冷たい心」です。普段は表に出ていないかもしれませんが、不安や恐れ、妬み、怒りなどをきっかけに現れ、人権侵害につながる可能性があります。

「冷たい心」を和らげるためには、日々の生活の中でのさまざまな出会いや学びが大切です。人権を侵害された人の痛みや人権を守るために尽力してきた人々の生き方に触れて、人の温かさや尊さを感じ取ることが、人の心を育てます。

そうした経験を通して、感じ、考え、自分を振り返ることが、私たち一人ひとりの人権感覚を育み、よりよい地域づくりにつながっていくのではないのでしょうか。

「人権尊重のまちづくりをめざして」リーフレット →
(熊本県教育委員会ホームページより)

